

長泉町・さわやかハイキング報告書

| | | | |
|--------------------|---|--------|----------|
| 通算山行NO | NO・110 | 報告者 | 伊藤 従人 |
| 年 月 日 | 2011年8月4日(木)～7日(日) | 2万5千 | 夜叉神峠・間ノ岳 |
| 山 名 | 白根三山縦走(北岳; 3193m、間ノ岳; 3189m、農鳥岳; 3026m) | | |
| 体力度=3・普通 | 技術度=3・普通(丸太橋は5・厳しい) | 藪漕=無し | 道標=あり |
| | トイレ=駐車場 | 三角点=ない | |
| 怖い恐い丸太橋をクリア | | | |
| コース とタイム | 大門沢小屋 5:30 発—ヨモギ沢丸太橋 5:35—広河内丸太橋 5:50—休憩 6:20～25—大コモリ沢丸太橋 6:50—小コモリ沢丸太橋 7:10—早川系取水口吊り 橋①7:15—吊り橋②7:20—吊り橋③7:32—林道の広河内庵着(休憩) 7:35～7: 45—林道ゲート 8:05—奈良田駐車場着 8:25～9:00—南部の湯(800円) 10:15 | | |
| 標高差 | 下り 大門沢小屋 約1750m～奈良田 約1000m=約750m | | |
| 参 加 者 | GL 後藤隆徳、伊藤従人、村山忠彦、小松真明、石和加代子、河野光江、峰田光江 合 計=7名 | | |

4日目(8月7日)晴

前日夕方は雷と大雨で小屋は湿っぽくなっているが、リーダーの機転で2階の個室を調達した為(千円増し)、メンバー全員気持ち良く目覚めたと思う。

5時に朝食を済ませ、5時半には大門沢小屋を出発。天候は曇りか?

すぐに沢の丸太橋が出現、丸太は水にて表面は滑る、またバランスを崩すと沢に落下の危険もあり、四つん這いになり、渡ることとなった。



沢沿いの道は、土が流され大きな石ころで構成されているので、下りとは言え、足に掛る負担も大きい。また私は、残り弁当や濡れた登山着が入り、さらにリュックは重くなっている。次の丸太橋は2本で構成されているが、途中で横木が無かったり、固定されてなかったり、膝をついての四つん這い渡りで緊張の連続であった。

前日の大雨か当日の雨の場合、沢の状態によっては丸太橋でも渡れるかどうか疑問である。広河内沢が左手に遠ざかりトラバースルートに入る、ブナか?巨木の原生林の中をひたすら歩く。太陽光が届かない為、若干足元が暗い感じはする。また、楓類が密集した

原生林があり、南アルプス山系の紅葉の美しさの源を見た気がした。



トラバース後は一気に沢の方へ下ることになり、滑りやすい急坂もあった。

大コモリ沢と小コモリ沢の丸太橋も慎重に渡ったり、また支流の沢などは橋など掛っていない為、後藤リーダーが対岸にいて、渡るルートの指示をした所を跳ぶことになる時もありました。登山靴に水が入ってしまった人がいたのでは？。足も疲れてきて、沢が左手崖下になったりすると慎重にゆっくりと、足元を確認しながらの下山でした。やはり大雨だと、このルートは危険が一杯という事に成りそうです。

早川系取水口近くの吊り橋まで来ると、ホッとします。やはり人手が入ってるという安心感があると思います。

砂防堤があり、吊り橋を3つ渡って林道に着いたのが、7時35分ですから約2時間。林道を歩きゲートまで25分とすると約2時間半の下山コースタイムですが、地図では3時間10分と記されております。

足元ばかり見て歩いていたので、林道に降り立った時見上げると、青空が見えました。後藤車で奈良田温泉を9時に出発し、途中奈良田温泉を含め4か所の温泉場を当たったが、朝早いとか、統一された金額(1100円)で結局、「南部の湯」に落ち着きました。

1回目の湯は2日分の垢を落とし、食事とビール、酒で満たされた後、さらに2回目の風呂に浸かり後藤車で寝ながら帰宅。小松運転手御苦労さまでした。そして健脚なメンバーの皆様も御苦労さまでした。

3000m級の山を縦走出来たことに対し、最後に後藤リーダー有難うございました。

